証券コード　5208
https://www.arisawa.co.jp

2023年3月期　連結決算の概要

株式会社有沢製作所
2023年5月12日

目次

■　2023年3月期 連結決算
□　2024年3月期 業績予想
□　参考資料

■ 2023年3月期通期 連結決算

ARISAWA

（単位：百万円）	22年3月期 通期 実績	23年3月期 通期 実績	前期比
売上高	43,089	42,722	-0.9%
営業利益	3,320	2,228	-32.9%
営業利益率	7.7%	5.2%	--
経常利益	4,204	2,717	-35.4%
純利益	3,911	2,856	-27.0%
一株利益（円）	117.40	86.46	-26.4%
配当金（円）	95.00	90.00	--
為替レート（円／$） 平均・・・・ 期末・・・・	 109.90 122.39	 131.62 133.53	--

■ 2023年3月期通期 連結決算ハイライト

ARISAWA

・連結売上高は、産業用構造材料・ディスプレイ材料が増加したが、電子材料・電気絶縁材料が減少し、前年同期比0.9%の減収。

・営業利益は、エネルギー費や原材料価格の高騰等の影響により同 32.9%の減益。産業用構造材料、ディスプレイ材料は増益となったが、電子材料、電気絶縁材料は減益。

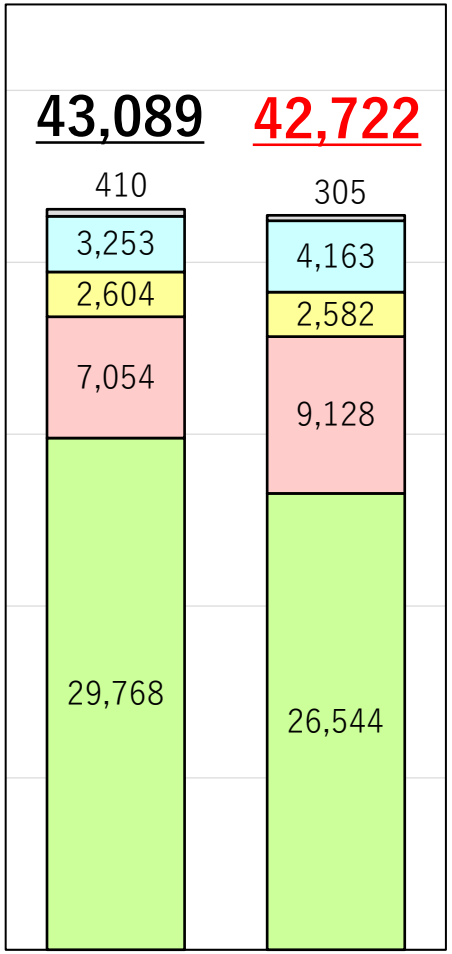
・電子材料は、ThinFlexのFPC用材料、ICGC、PWBPPの販売の減少により同10.8%の減収。
・産業用構造材料は、水処理用FRP製圧力容器、車載材料の販売の伸長により、同29.4%の増収。
・ディスプレイ材料は、 3D用ディスプレイ関連材料および偏光利用部材の販売が伸長し同28.0%の増収。

・経常利益は、為替差益の減少により営業利益の減少率を上回る同35.4%の減益。

・当期純利益は、有価証券売却益の計上により経常利益の減少率を下回る同26.4%の減益。

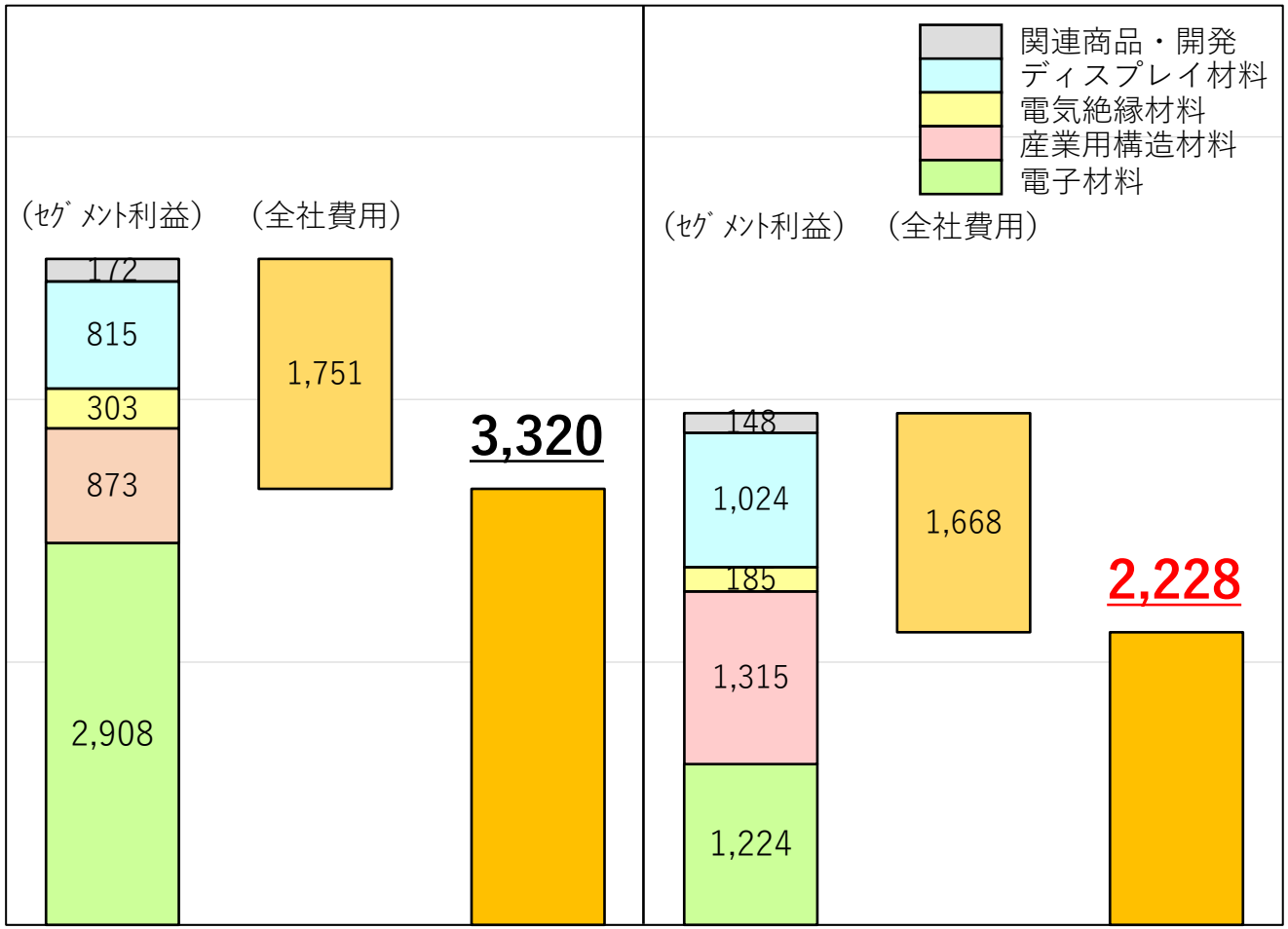
■ 2023年3月期通期の前期比増減分析

売上高（百万円）



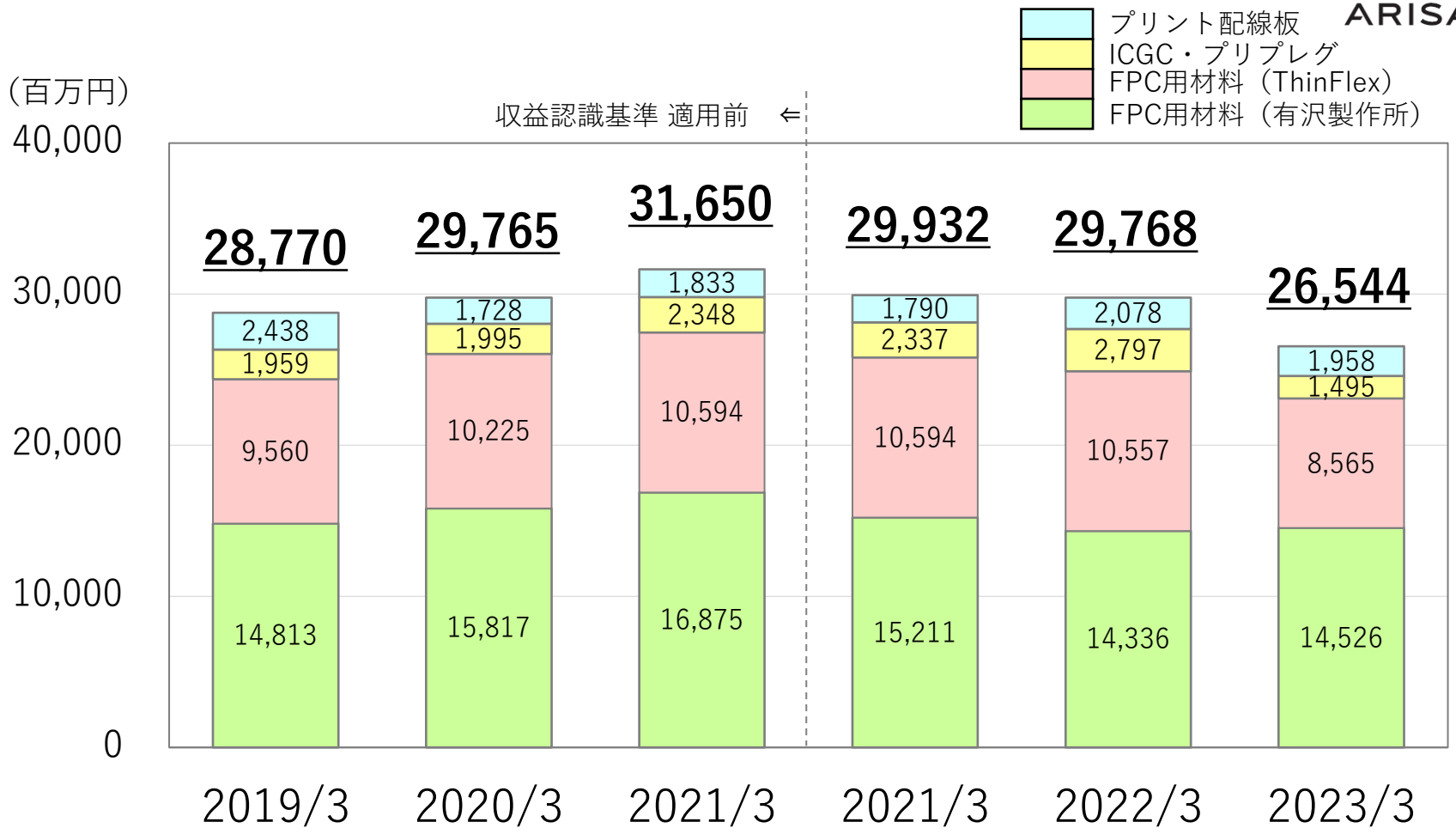
2022/3　2023/3

営業利益（百万円）



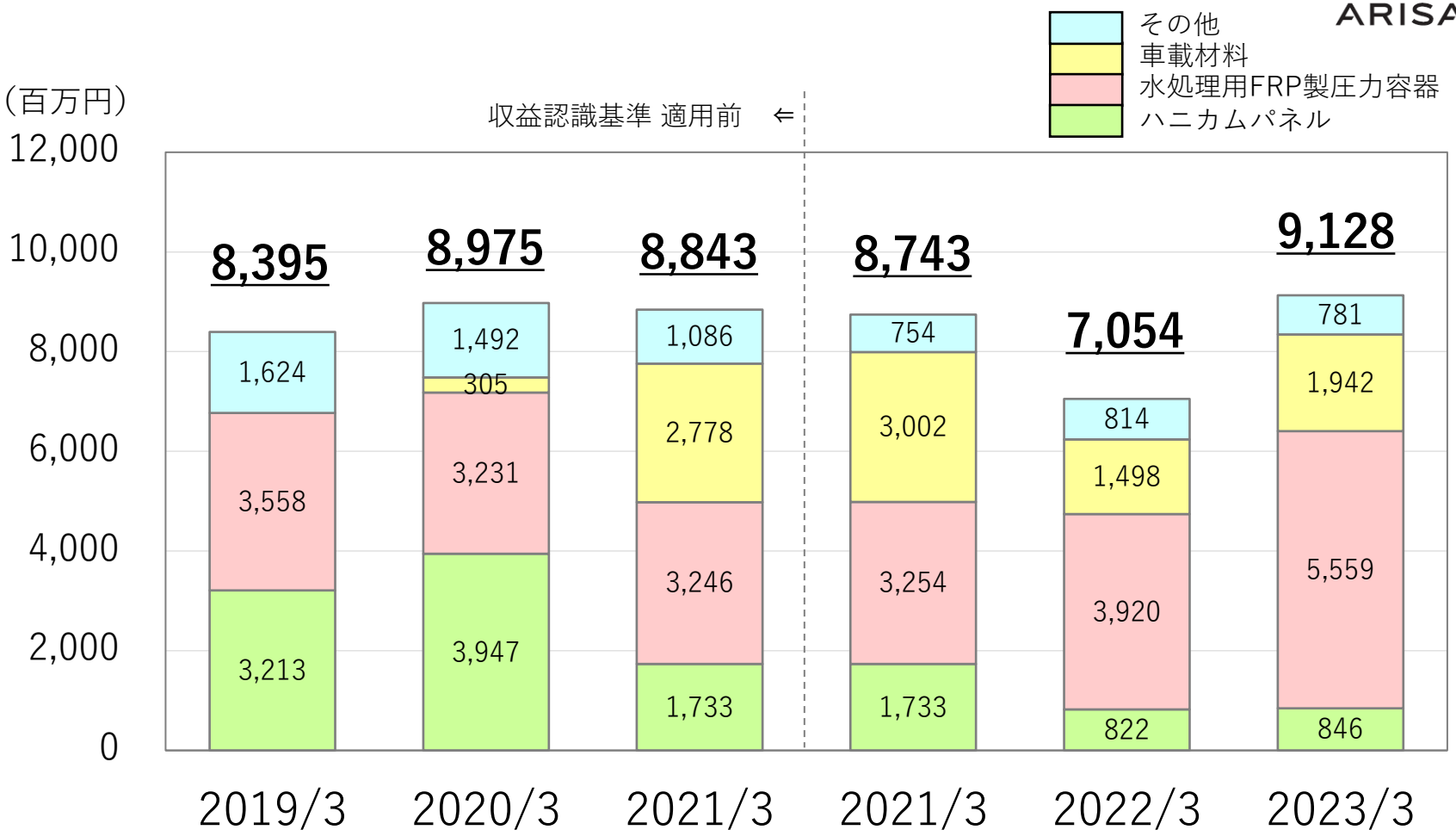
2022/3　2023/3

■ 電子材料の売上推移



・FPC用材料（ThinFlex）：前期比18.9%減収
・ICGC・プリプレグ：前期比46.6%減収

■ 産業用構造材料の売上推移



・水処理用FRP製圧力容器：前期比41.8%増収
・車載材料： 前期比29.6%増収

目次

□　2023年3月期 連結決算
■　2024年3月期 業績予想
□　参考資料

■ 2024年3月期通期 連結業績予想

ARISAWA

（単位：百万円）	23年3月期 上期実績	23年3月期 通期実績	24年3月期 上期予想	前期比	24年3月期 通期予想	前期比
売上高	22,994	42,722	20,300	-11.7%	45,300	6.0%
営業利益	1,861	2,228	300	-83.9%	2,100	-5.7%
営業利益率	8.1%	5.2%	1.5%	--	4.6%	--
経常利益	2,408	2,717	200	-91.7%	2,100	-22.7%
純利益	2,563	2,856	100	-96.1%	1,800	-37.0%
一株利益（円）	77.37	86.46	3.01*	-96.1%	54.27*	-37.2%
配当金（円）	0	90.00	20	--	45	--
為替レート（円／$） 平均・・・・ 期末・・・・	 123.14 144.81	 131.62 133.53	 131.30 122.50		 127.00 120.00	

＊ 3月31日現在での株式数で試算

■ 2024年3月期通期 連結業績予想ハイライト

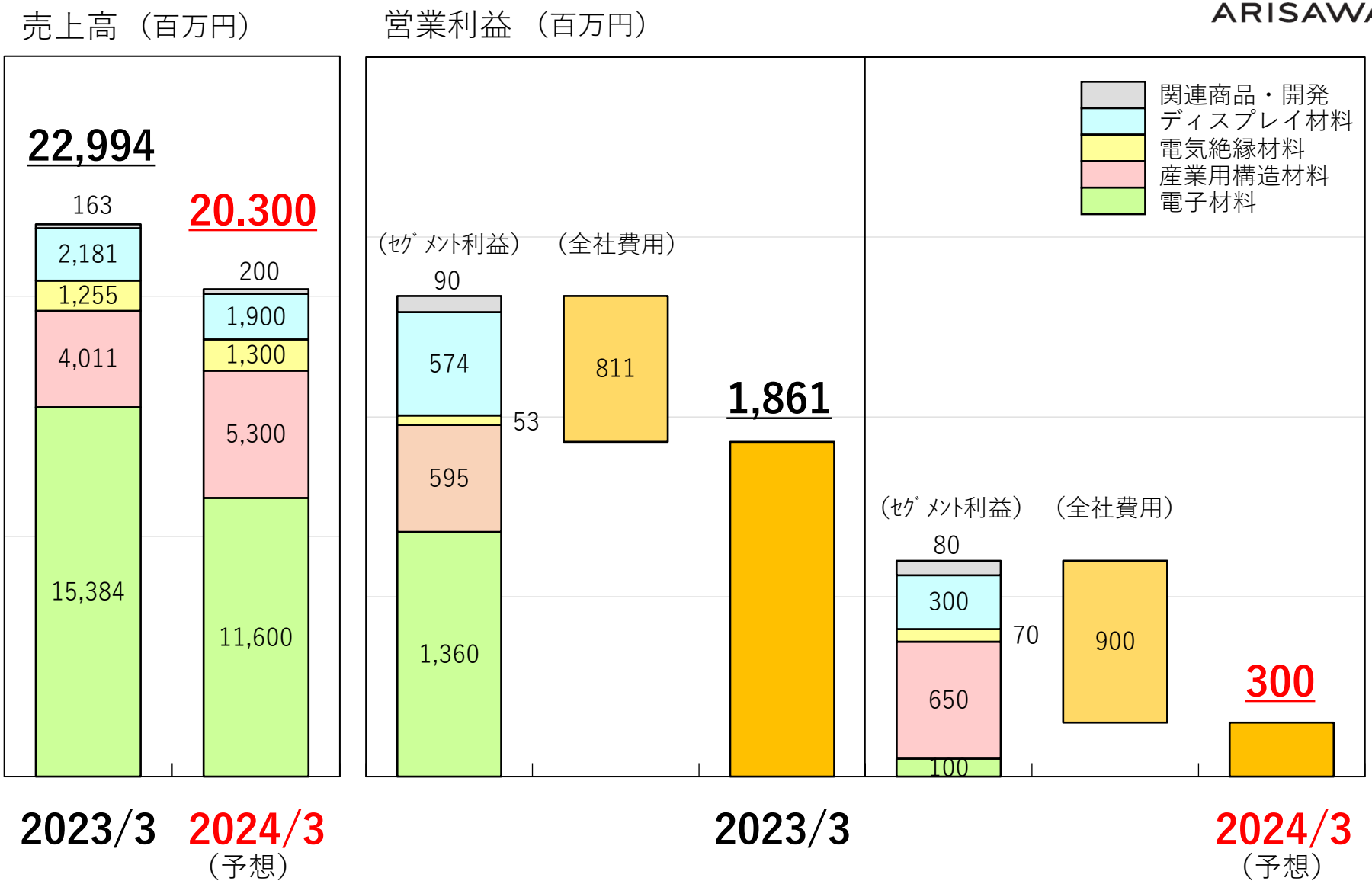
ARISAWA

・売上高は、電子材料､産業用構造材料、ディスプレイ材料が堅調に推移し、前期比6.0%の増収と予想。
ただし、電子材料の上期は、中国経済活動の低迷の影響が続き減収と予想。

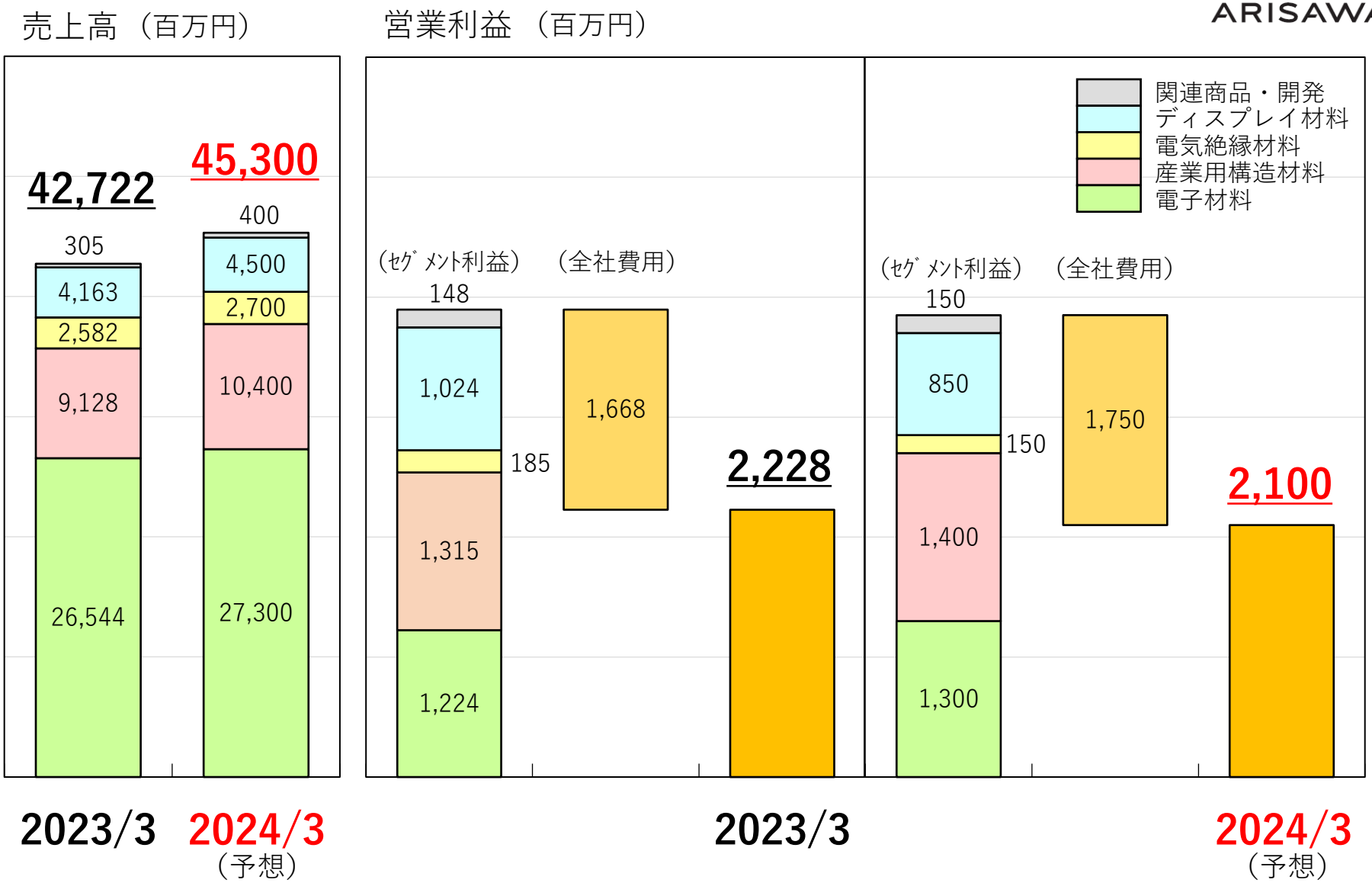
- 電子材料は、FPC用材料、半導体用材料とICGC、PWBPPの伸長により同2.8%の増収。
- 産業用構造材料は、ハニカムパネル、車載材料、水処理用FRP製圧力容器が伸長することで同13.9%の増収。
- ディスプレイ材料は、3D用ディスプレイ関連材料および偏光利用部材が伸長することで同8.1%の増収。

・営業利益は、エネルギー費や原材料価格の高騰の影響により同5.7%の減益と予想。

■ 2024年3月期上期予想の前期比増減分析

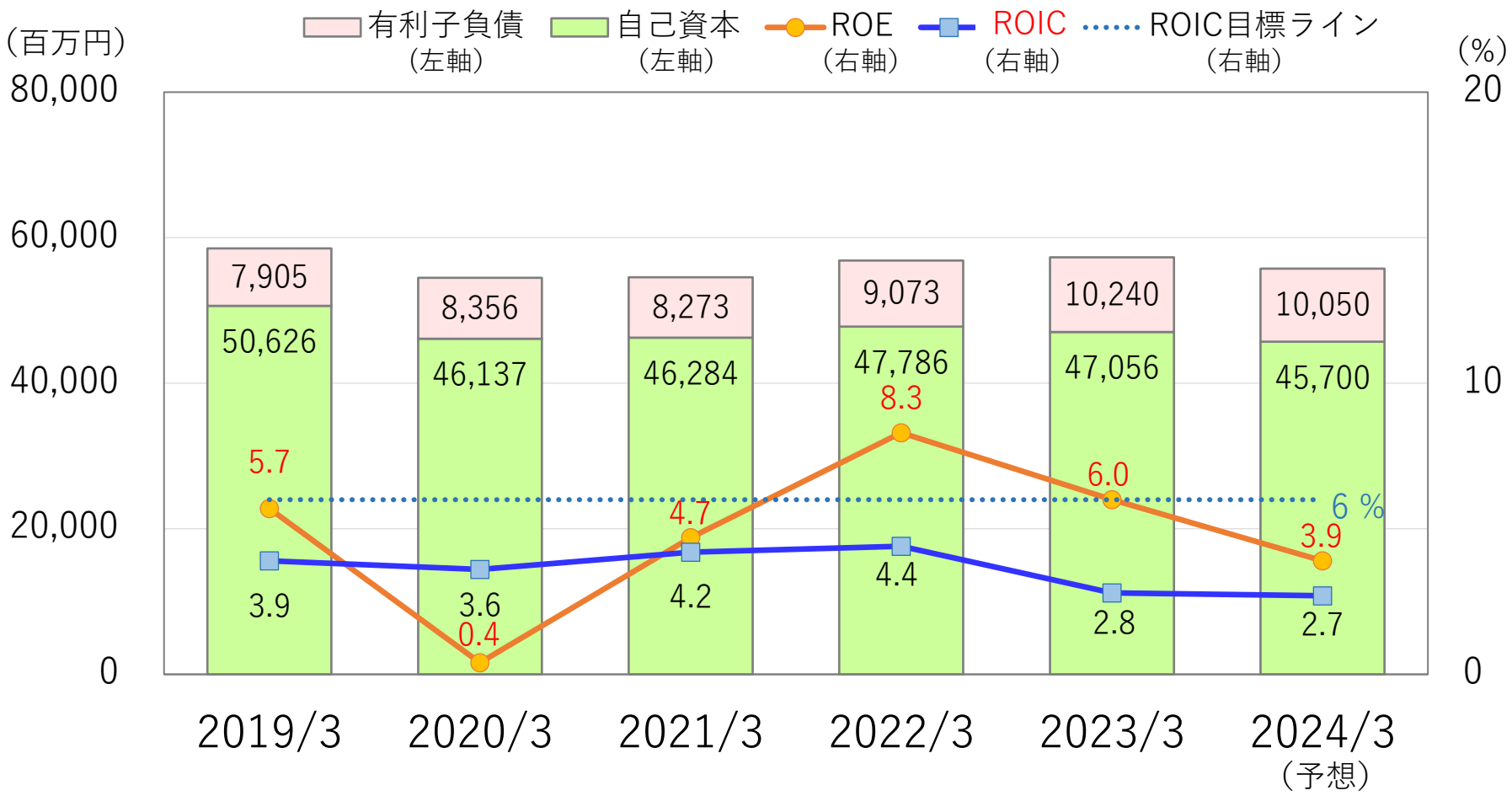


■ 2024年3月期通期予想の前期比増減分析



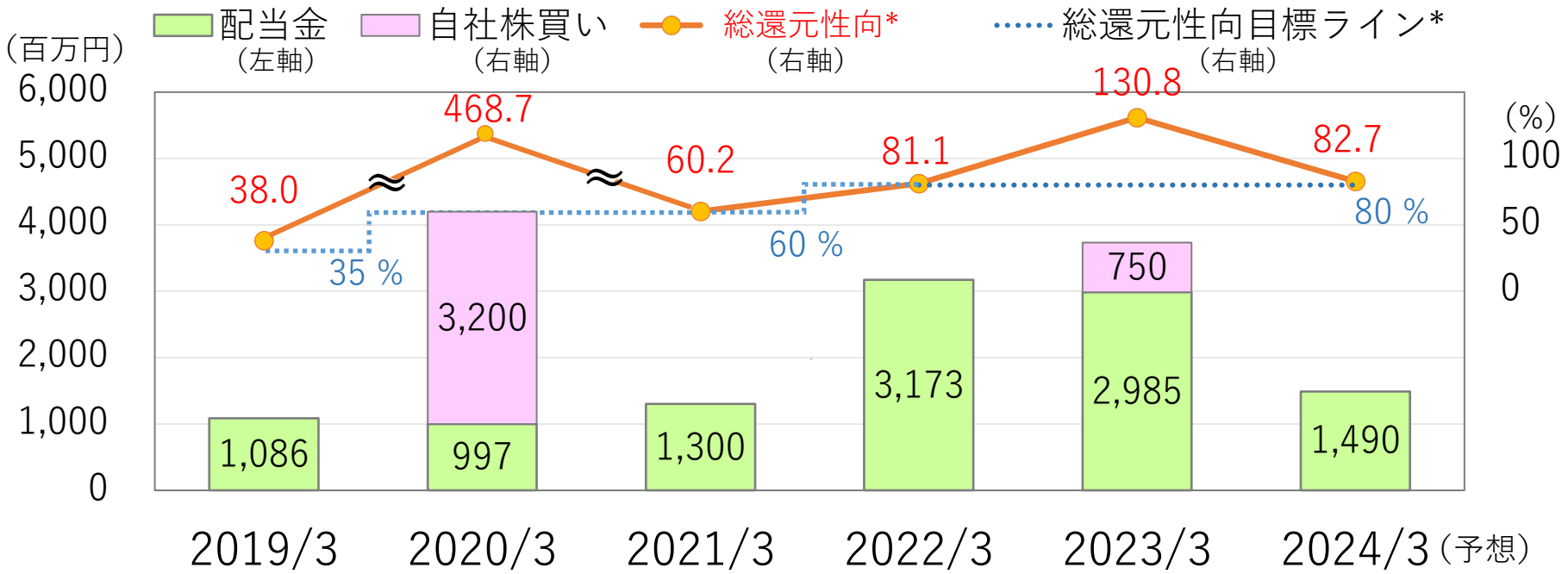
■ ROE・ROICの推移

ROE= 当期純利益 ／ 自己資本　　ROIC=　税引き後営業利益 ／ （自己資本＋有利子負債）



■ 配当金・総還元性向の推移

＊総還元性向は2021年3月期より適用 （2020年3月期までは配当性向）



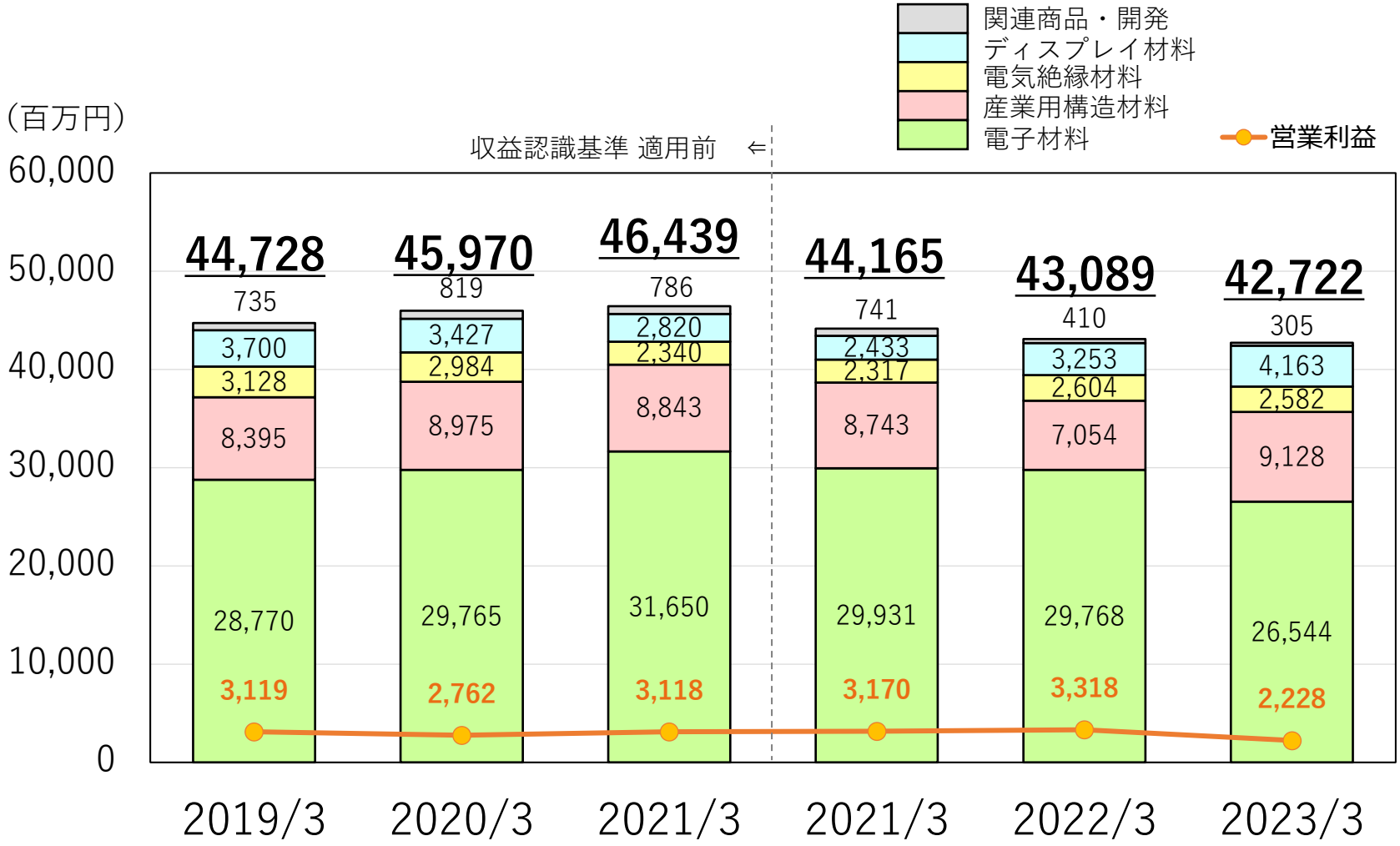
	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
株価（円/株）**	793	802	1,000	957	1,254	―
配当金（円/株）	30	30	39	95	90	45(予想)
配当利回り （%）	3.8	3.7	3.9	9.9	7.2	―

＊＊ 各年度末の終値

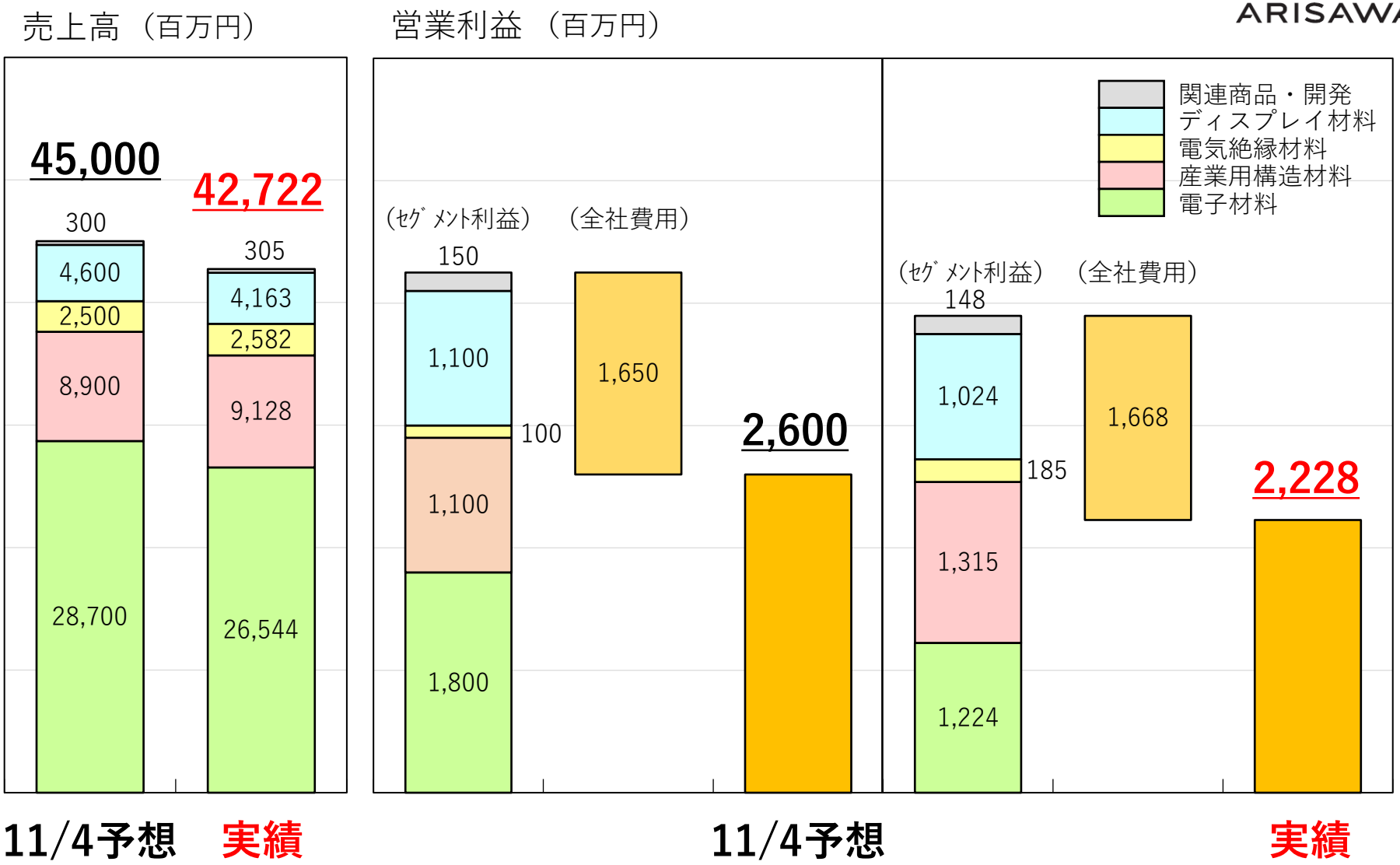
目次

□　2023年3月期 連結決算
□　2024年3月期 業績予想
■　参考資料

■ 年度別／分野別の業績推移（売上高・営業利益）



■ 2023年3月期通期の11月4日予想との増減分析



■ 会社別 通期業績（前期比）

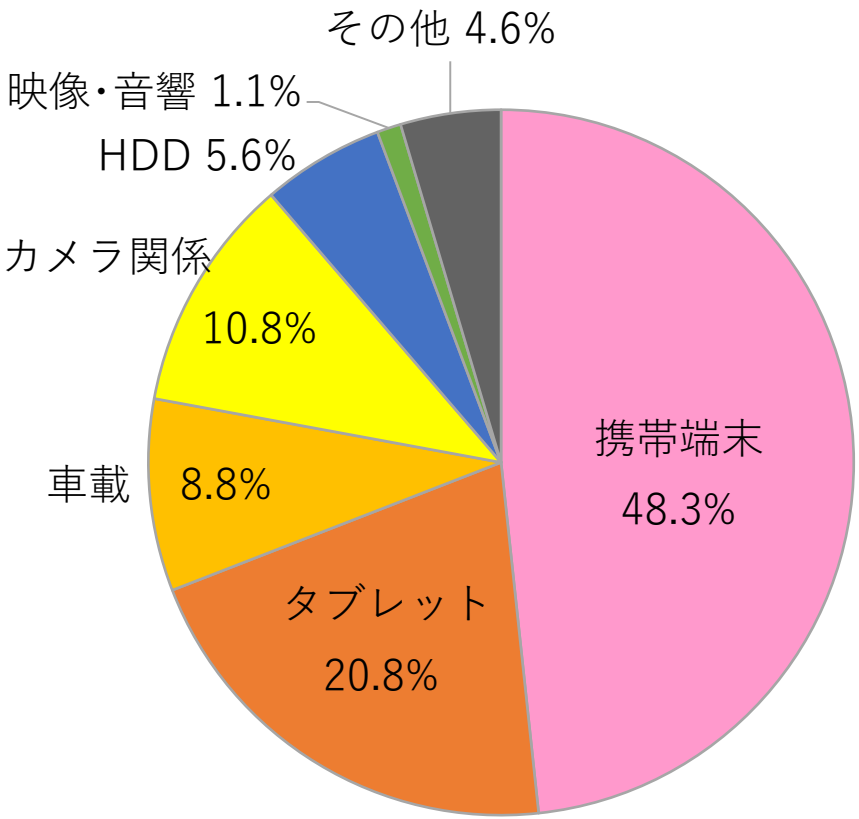
ARISAWA

（単位：百万円）

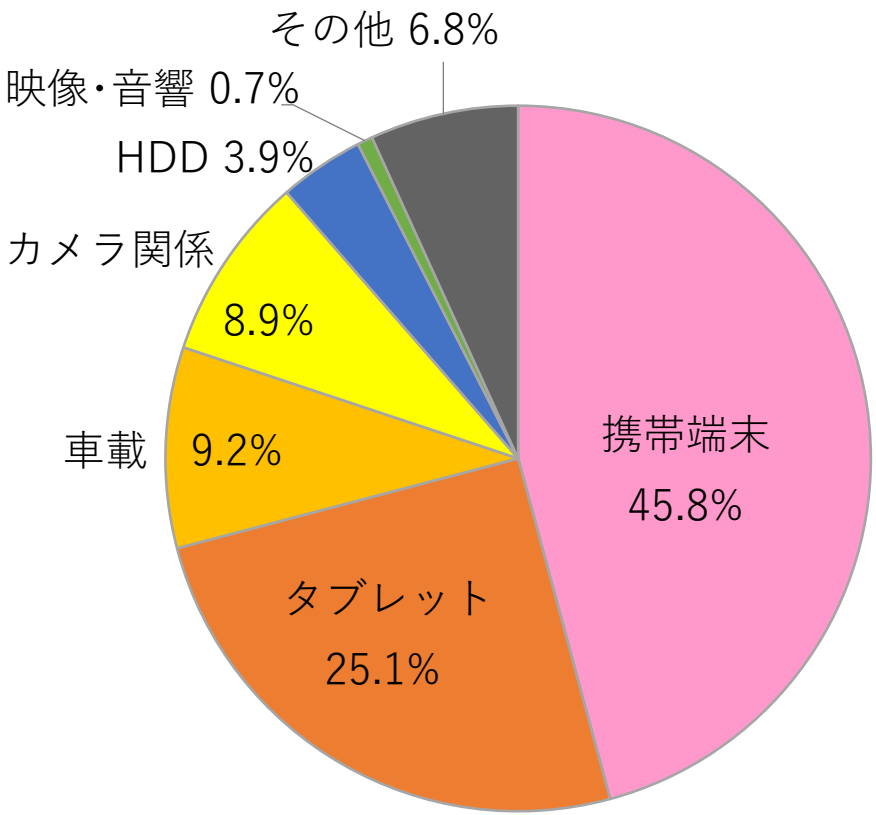
	売上高					営業利益				
	‘22.3月期 通期実績	‘23.3月期 通期予想 (11/4)	‘23.3月期 通期実績	増減 対前期	増減 対予想	‘223月期 通期実績	‘23.3月期 通期予想 (11/4)	‘23.3月期 通期実績	増減 対前期	増減 対予想
単体										
有沢製作所	26,648	27,400	25,752	(896)	(1,648)	1,319	1,500	1,098	(221)	(402)
連結会社										
シンフレックス	10,598	10,200	9,661	(937)	(539)	638	(150)	(30)	(668)	120
サトーセン	2,079	2,100	1,958	(121)	(142)	64	50	24	(40)	(26)
ｱﾘｻﾜﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽ	2,501	1,700	1,657	(844)	(43)	187	(150)	(135)	(322)	15
プロテック	3,813	5,400	5,369	1,556	(31)	639	860	907	268	47
有沢総業	1,696	1,600	1,563	(133)	(37)	97	60	36	(61)	(24)
有沢樹脂工業	262	250	263	1	13	30	10	15	(15)	5
ｶﾗｰﾘﾝｸ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ	1,796	2,650	2,257	461	(393)	196	420	282	86	(138)
（連結消去額）	(6,304)	(6,300)	(5,758)			148	0	31		
合　計	43,089	45,000	42,722	(367)	(2,278)	3,318	2,600	2,228	(1,090)	(372)

当社製FPC材料の用途

2022年3月期

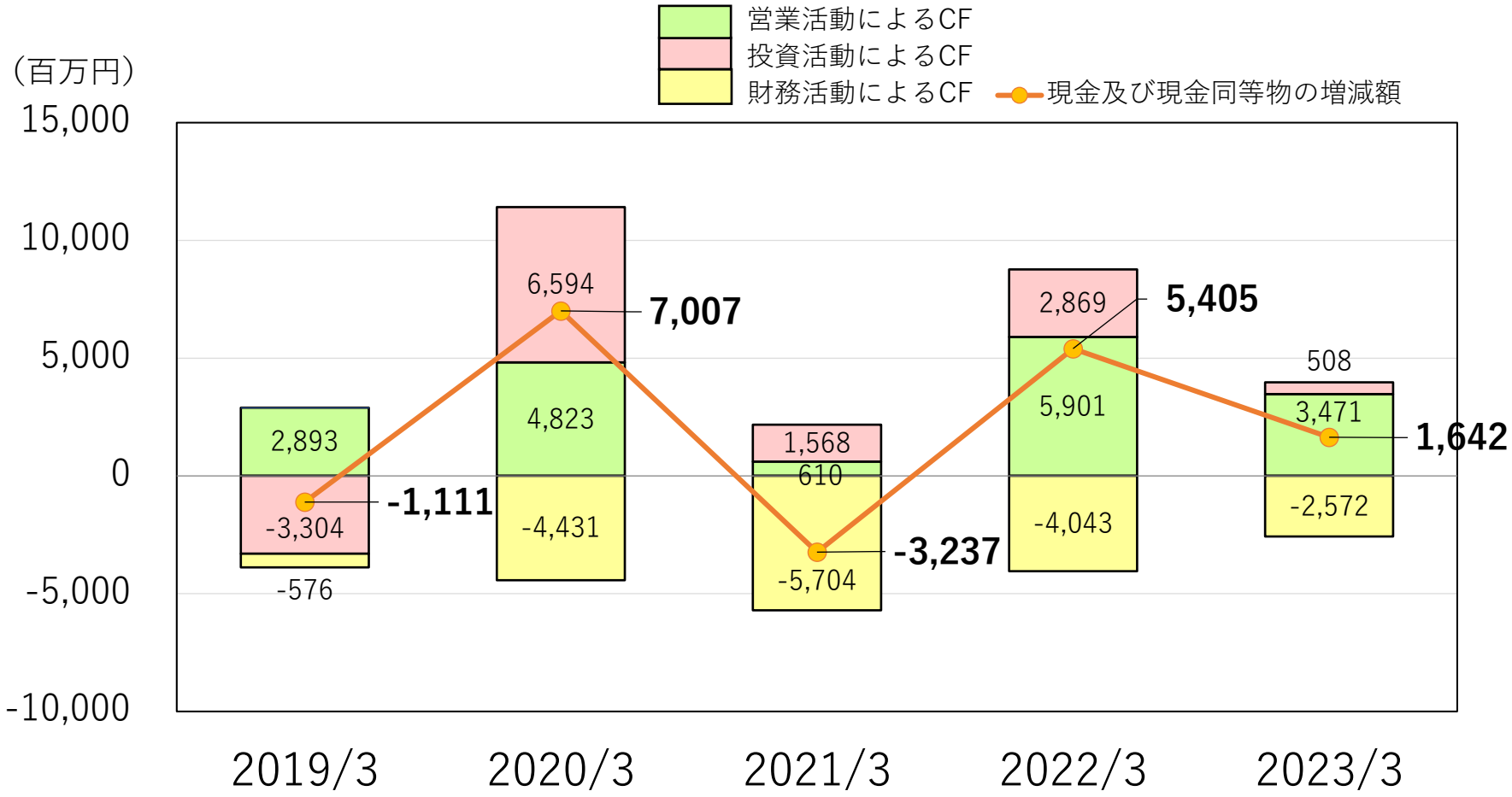


2023年3月期

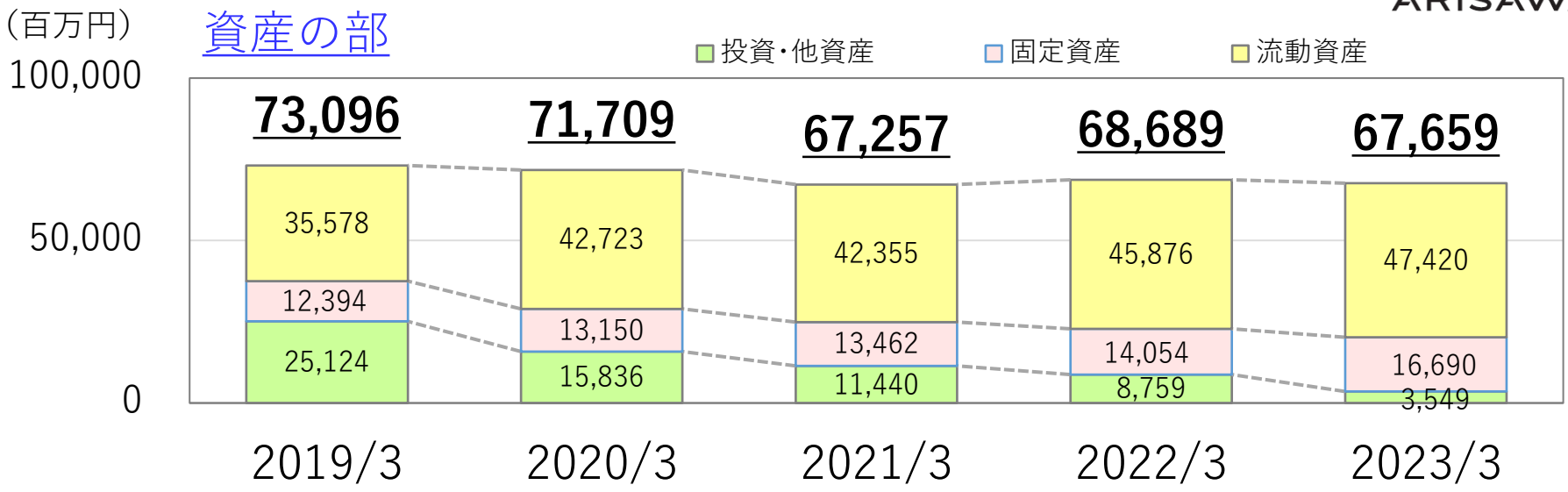


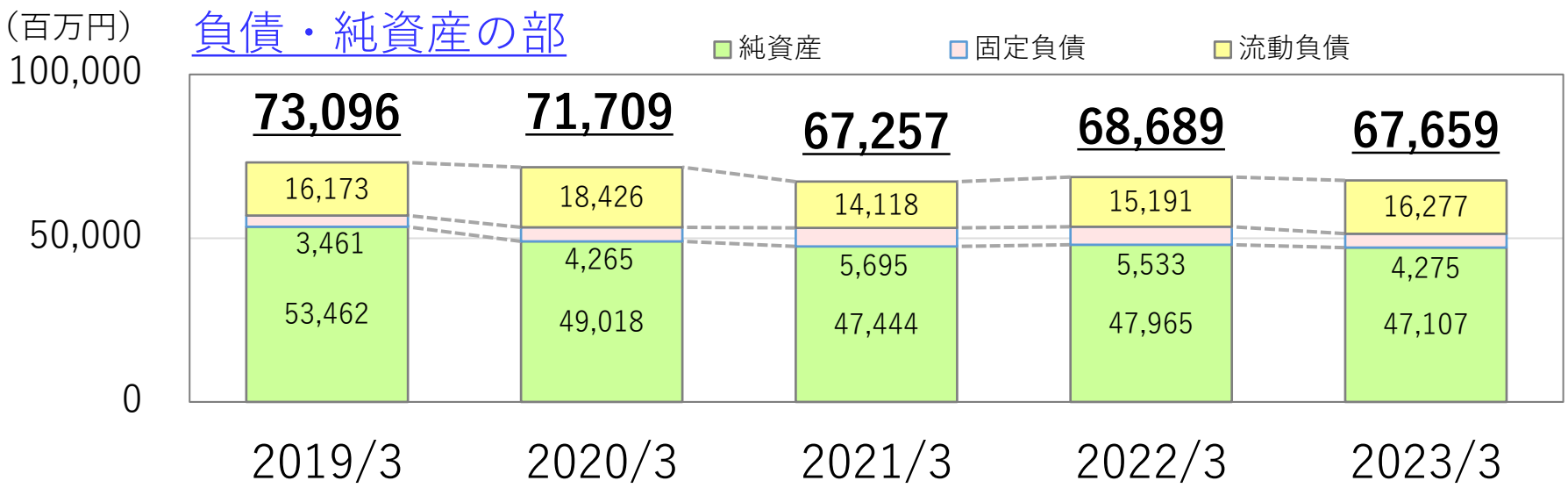
数量ベース
出所：当社推定

連結キャッシュフローの推移

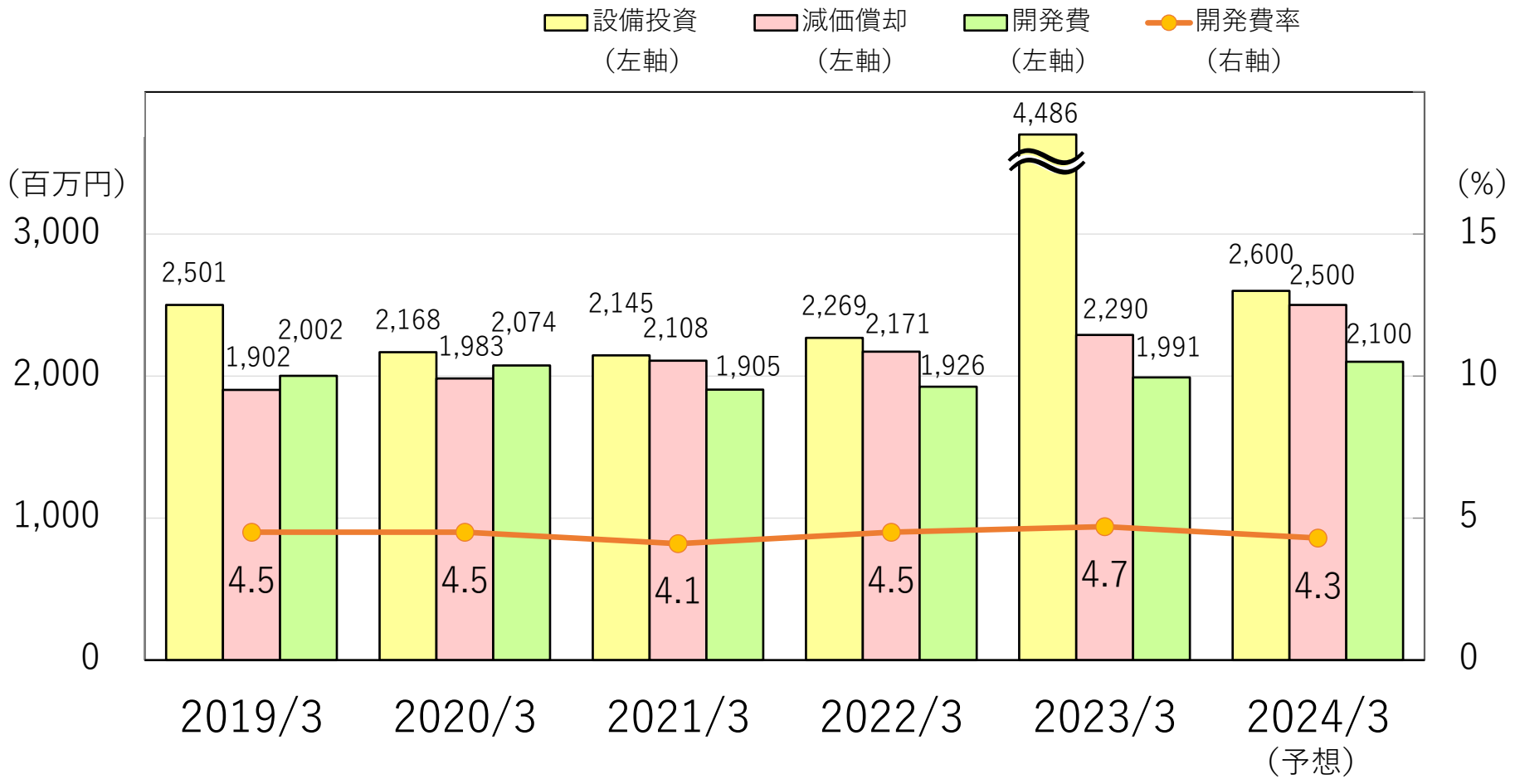


■ 連結貸借対照表（要旨）の推移





■ 設備投資・減価償却費・開発費の推移



本資料は、株式会社有沢製作所（以下当社）による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料及びその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利若しくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、或いは本資料作成時点における実勢及び当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。